資料７

意見交換

各機関の防災に関する取組

機関名	令和4年度の主な取組
帯広市	・帯広川第1排水区、機関庫の川第5排水区の下水道雨水管の整備 ・ハザードマップの更新及びWEB版ハザードマップの作成 ・防災ガイドの全戸配布 ・避難所運営ゲーム（HUG）の実施
音更町	・北十勝４町による広域防災に係る相互応援に関する協定 ・道の駅おとふけにおける災害対応訓練
士幌町	・防災ガイドブックを令和４年１２月末に全世帯に配布 ・自主防災組織の活動に係る助成金を整備 ・防災無線の整備（戸別受信機をすべての転入者へ配布）
上士幌町	・洪水浸水想定区域図の中小河川指定・公表にともない洪水リスクについての周知活動を実施 ・気象警報発表時には町一斉情報配信システムにおいて町民へ注意喚起を実施
鹿追町	・農業用排水路の管理・整備 ・避難所運営マニュアルの改正
新得町	・農業用排水路の管理・整備 ・災害備蓄資材の確保充実、要支援者用備蓄品の充実 ・公共施設の防災機能の強化（役場庁舎建替）
清水町	・防災資機材備蓄用コンテナ新設（1箇所） ・清水町　防災ガイドブック（ハザードマップ）の改訂（R4.5配布） ・農村地区の避難所【9箇所】の通信環境の整備（公衆無線LAN）

各機関の防災に関する取組

機関名	令和4年度の主な取組
芽室町	・防災計画に基づき、シナリオを明かさないブラインド方式で災害対策本部訓練の実施 ・日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進地域の改正等に伴い、地域防災計画を改正 ・避難所となる公共施設の建替（中伏古、上伏古）
中札内村	・農業用排水路の管理・整備 ・避難所となる公共施設等の発電機等備品整備
更別村	・11/13に、上更別区の住民を対象とした防災訓練を実施。災害により、第二避難所への避難を想定した訓練を実施。 ・希望者へのメール配信による防災情報発信の実施
大樹町	・ハザードマップ（二級水系）は、年度末までに完成予定。その後、町民への配付等を行う。
広尾町	・ハザードマップの整備（二級水系）を進める。 ・自主防災組織への交付金の交付
幕別町	・中小河川の浸水想定区域指定後に避難所等の見直しを含めたハザードマップおよび防災のしおりの見直し作業開始（R5年度完了予定） ・町内防災士、防災マスター参加のもと、忠類小学校および忠類中学校で１日防災学校を実施 ・まるごとまちごとハザードマップの看板を設置（R4.10完了）
池田町	・緊急避難場所の使用について池田河川事務所と内容の協議 ・まるごとまちごとハザードマップを用いた防災教育 ・防災無線の受信機配布

各機関の防災に関する取組

機関名	令和4年度の主な取組
豊頃町	・農業排水路等の整備　・地域防災計画改定　・水防計画改定　・避難所運営訓練実施 ・トンケシ津波緊急避難場所及び避難路の整備 ・ハザードマップのR4年度改定（津波浸水深の見直し、内水マップ追加、中小河川浸水想定域、土砂災害警戒地区の見直し）
本別町	・ハザードマップ（防災ガイドマップ）のをR4.12 に改定 ・避難所（健康管理センター）通信環境（Wi-Fi）整備 ・町内各小中学校にて職員による防災教育の実施
足寄町	・中小河川の浸水想定区域指定に伴い、防災ガイドマップの指定避難場所の見直しを実施 （令和5年度に足寄町防災ガイドマップを更新予定） ・福祉避難所等の通信環境（Wi-Fi）の整備
陸別町	・農業排水路の管理・整備 ・防災行政無線のデジタル化への伝播調査等の調査、市街地屋外SPの整備完了、備蓄資材の計画的増備の推進 ・北海道との災害連絡通信訓練に参加
浦幌町	・防災情報伝達システムへの事前登録の推進 ・防災対策基礎研修会（6/24）初級職員（経験年数１～５年）対象 ・厚内地区防災避難訓練（5/12）を実施。
北海道警察釧路方面本部	・外国人留学生に対する防災訓練 ・小学生に対する避難訓練
陸上自衛隊第５旅団	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練に参加。

各機関の防災に関する取組

機関名	令和4年度の主な取組
とかち広域消防局	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練、防災訓練に参加。
日本放送協会帯広放送局	・訓練に積極的に参加するとともにその模様を地域向けに放送し、啓発に努める。 ・NHKの防災教育コンテンツを活用した防災授業
北海道旅客鉄道株式会社釧路支社	・鉄道橋の合同巡視
北海道電力株式会社新得水力センター	・国交省主催の洪水対応演習に合わせて情報伝達訓練を実施。 ・毎年４月の新得町広報誌に当社および電源開発との連名で水難事故防止の喝載を実施。また、７月には同広報誌に水難事故防止と、小中学校にPR資料の配布を実施。
電源開発株式会社東日本支店上士幌電力所	・国交省主催の洪水対応演習に合わせて情報伝達訓練を実施（R4.5.12-13演習参加） ・上士幌小学校（4･5年生）の糠平ダム見学時にダム放流時の警報等について説明（R4.7.5-6） ・発信文の表現等の見直しを行い、関係自治体と検討を行い、改善を実施
十勝西部森林管理署	・渓間工の実施（足寄町、清水町、新得町） ・植栽、間伐等の実施（二級水系を含む管轄管内全域）
森林整備センター 北海道水源林整備事務所	・植栽、間伐の実施

各機関の防災に関する取組

機関名	令和4年度の主な取組
釧路地方気象台	・帯広開発建設部と連携し十勝川水系洪水予報伝達訓練を実施し、情報伝達方法を確認 ・「危険度を色分けした時系列」及び「警報級の可能性（早期注意情報）」を発信し、自治体における防災対応の効果的な支援を実施
十勝総合振興局	・堤防整備、河道掘削、侵食対策（二級水系含む） ・砂防堰堤整備の継続（二級水系含む） ・瓜幕地区の排水路整備を実施 ・植栽、間伐の実施（二級水系含む）
帯広開発建設部	・大津築堤の堤防整備、十勝川中流及び利別川の河道掘削、侵食対策、砂防堰堤整備の継続 ・新川二期地区、芽室川西地区、十勝川左岸二期地区の排水路整備を実施 ・国管理区間における流域タイムラインの作成 ・流域の関係機関と連携し、十勝川水系音更川総合水防演習、情報伝達訓練を実施

【音更町ほか】北十勝4町による広域防災に係る相互応援に関する協定

○ この協定は、平常時及び災害時等における防災に関して、国及び道と連携を図ると共に、提携町が相互に協力することにより、災害対策の強化及び災害が発生した場合における迅速な応急活動を通じて被害の軽減を図り、もって提携町住民の安全を確保することを目的とする。

日　時　令和４年４月２６日
場　所　音更町役場庁舎　２階　庁議室
主催者　音更町、士幌町、上士幌町、鹿追町
参加者　小野信次音更町長、髙木康弘士幌町長、竹中貢上士幌町長、喜井知己鹿追町長

○参加者からのコメント

・小野信次音更町長：広域的な協力体制が整い新しい仕組み作りによって住民の安心安全がさらに強く守られることに期待しています。
・髙木康弘士幌町長：協定の締結によって4町の連携がさらに迅速な対応と安心安全な住民生活が守られることになると期待しています。
・竹中貢上士幌町長：災害の大小に関わらず相互に気遣い、助け合うことができることから、町民の安心安全に関して信頼が深まるものと期待しています。
・喜井知己鹿追町長：歴史的にも地理的にも深いつながりのある4町が協定の締結により住民の安心安全にさらに寄与することになると期待しています。

協定締結の状況

【音更町】道の駅おとふけにおける災害対応訓練

○　令和４年４月に移転開業した「道の駅おとふけ」は、音更町指定避難所、指定緊急避難場所及び車中避難場所に指定されていることから、関係者による災害対応訓練を実施することで、円滑な避難所等開設の体制構築を図ることを目的として実施した。

日　時　令和４年１１月２１日

参加者　音更町（10名）、音更町消防団（（15名）女性消防団：すずらん分団、機能別団員）、
道の駅（（14名）、指定管理者：株式会社オカモト・鈴蘭ビルサービス株式会社、
出店者等：９店舗事業者）、帯広開発建設部（6名）、NEXCO東日本帯広管理事務所（1名）、
損保ジャパン株式会社（2名）、北海道コカ・コーラボトリング株式会社（1名）、計約５０名

○参加者からのコメント

・災害に備えて、心構えを含め情報を共有し、万が一の際に安心を提供できるようにしたい。

・防災訓練を何度も繰り返し、災害時に備えておくことでいざという時の迅速な対応につながる。

感染症対策セット等展示説明

避難所開設訓練実施中

【幕別町】公共施設へ「まるごとまちごとハザードマップ」の標識を設置しました

〇幕別町では町民の水害に対する危機管理意識向上のため、国土交通省が推進する「まるごとまちごとハザードマップ」の一環として、浸水想定区域内の公共施設等に想定浸水深を示す標識を設置しました。

実施概要

実　施　年：令和4年　実施場所：幕別運動公園　ほか
主　　催：幕別町、コンサルタント会社協力

・運動公園やコミュニティセンターなど、 日常的に利用する公共施設に設置することによって、想定浸水深の周知及び防災意識の向上が期待出来る

幕別運動公園

※取り付け状況

相川北近隣センター

【NHK】NHKの防災教育コンテンツを活用した防災授業

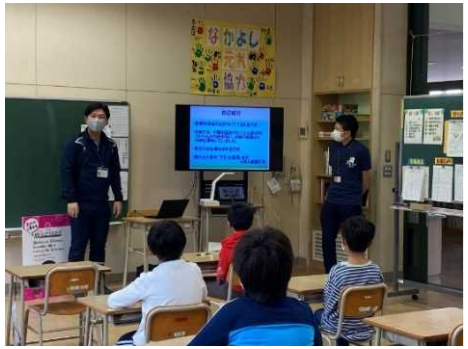
○　音更町教育委員会と連携して、NHKの防災教育コンテンツを活用した防災授業を小学生向けに実施。河川が氾濫した場合の浸水想定をARで体験するなど避難行動を考える機会を提供するとともに、その模様を10月5日のニュースで放送し地域住民への啓発活動も実施した。

日　時　令和４年９月２８日、１０月３日、１０月１３日、１０月１７日
場　所　音更町内の4小学校（鈴蘭小、下士幌小、東士狩小、木野東小）
参加者　鈴蘭小5年生 73名、下士幌小3･4年生 12名、東士狩小3･4年生 9名、木野東小6年生 70名

○参加者からのコメント
・チコちゃんが説明してくれて楽しかった。
・５０cmの浸水でも歩けなくなるなんて知らなくてびっくりした。
・家に帰ってから家族に話して一緒に考えようと思った。

NHKコンテンツを活用した授業（鈴蘭小）

NHKコンテンツを活用した授業（木野東小）


音更町職員とNHKが協同で授業（下士幌小）

AR浸水体験の様子（東士狩小）

浸水想定をARで放言したポスターを作成（木野東小）

放送でNHK帯広放送局の取組を紹介

【帯広警察署】外国人留学生に対する防災訓練

○　留学生（JICA受入れ）に対して、災害時の取るべき行動について周知させることを目的とするDIG訓練及びシェイクアウト訓練の説明と実施。

日　時　令和４年１０月７日
場　所　JICA帯広
参加者　８名

○参加者からのコメント

・十勝川という大河川と複数の支流が市内を流れているので、洪水の発生が予想される。
・避難場所は目的に応じて選びその避難経路も複数用意する。
・頭を守ることは命を守ることであるとわかった。
・避難行動を取る前に、まずは落ち着くことが大事だと思う。

防災訓練の様子

十勝川外
流域治水協議会

【本別警察署】小学生に対する避難訓練

○　陸別小学校児童等の防災意識を向上させると共に、発災時の避難要領の確認を行うことが目的。陸別小学校避難訓練への参加依頼を受け、実際に避難場所（陸別中学校）までの誘導や助言を実施。

日　時　令和４年１０月２５日
場　所　陸別町立陸別小学校　特別養護老人ホームしらかば苑
参加者　陸別小学校　約１００名

○参加者からのコメント

- 災害が起きた時に避難できるように訓練できて良かった。
- 実際に避難してみて移動が大変だと思った。
- 警察官がいてくれて安心できた。

防災訓練の様子

【帯広開建　北海道旅客鉄道株式会社　釧路支社】鉄道橋の合同巡視

○　利別川を横断するJR橋について、北海道旅客鉄道株式会社　釧路支社と合同巡視を実施。
　　日　時　令和４年１１月８日　１３時３０分～
　　場　所　利別川　利別川橋梁
　　参加者　帯広保線所　池田河川事務所
○　重要水防箇所Aである利別川橋梁について現地で巡視を行い、補修状況等について確認した。

合同巡視の状況

【帯広開発建設部・音更町】音更町立木野東小学校で防災学習・避難訓練を実施しました

実施概要

概　　要：音更町立木野東小学校の4年生を対象に行われた防災教育への支援を実施。
「水災害からの避難訓練ガイドブック」を活用し、新学習指導要領を踏まえた理科及び社会に関わる教科内容での学習及び避難訓練の支援を実施。

実 施 日：理　　科　令和4年10月　5日（木）・・・川の水の仕組み
社　　会　令和4年10月　7日（金）・・・洪水から暮らしを守る人たちの仕事
避難訓練　令和4年10月17日（月）・・・浸水範囲を理解し、避難所までの経路を確認

学　　校：音更町立木野東小学校　4学年　3クラス

防災学習・避難訓練実施状況

○ 防災学習の主体は先生が進行し、ポイントで国土交通省職員が解説を行った。

○ 音更町職員から避難するときの心得等について説明を受け避難訓練を実施。避難場所までの途中で北海道防災マスターからH28出水の様子等の説明を受けた。

防災学習の様子

避難訓練の様子

十勝川流域における流域治水の取組事例（調整・実施状況　豊頃町）

十勝川外
流域治水協議会

＜流域治水対策＞

自治体の**一時避難場所の基盤盛土等に河道掘削土を活用**。また、北海道や町の事業と連携し流域治水を展開中。町で実施している避難路整備は観光地へのアクセス路としても活用（全体構想は検討・調整中）

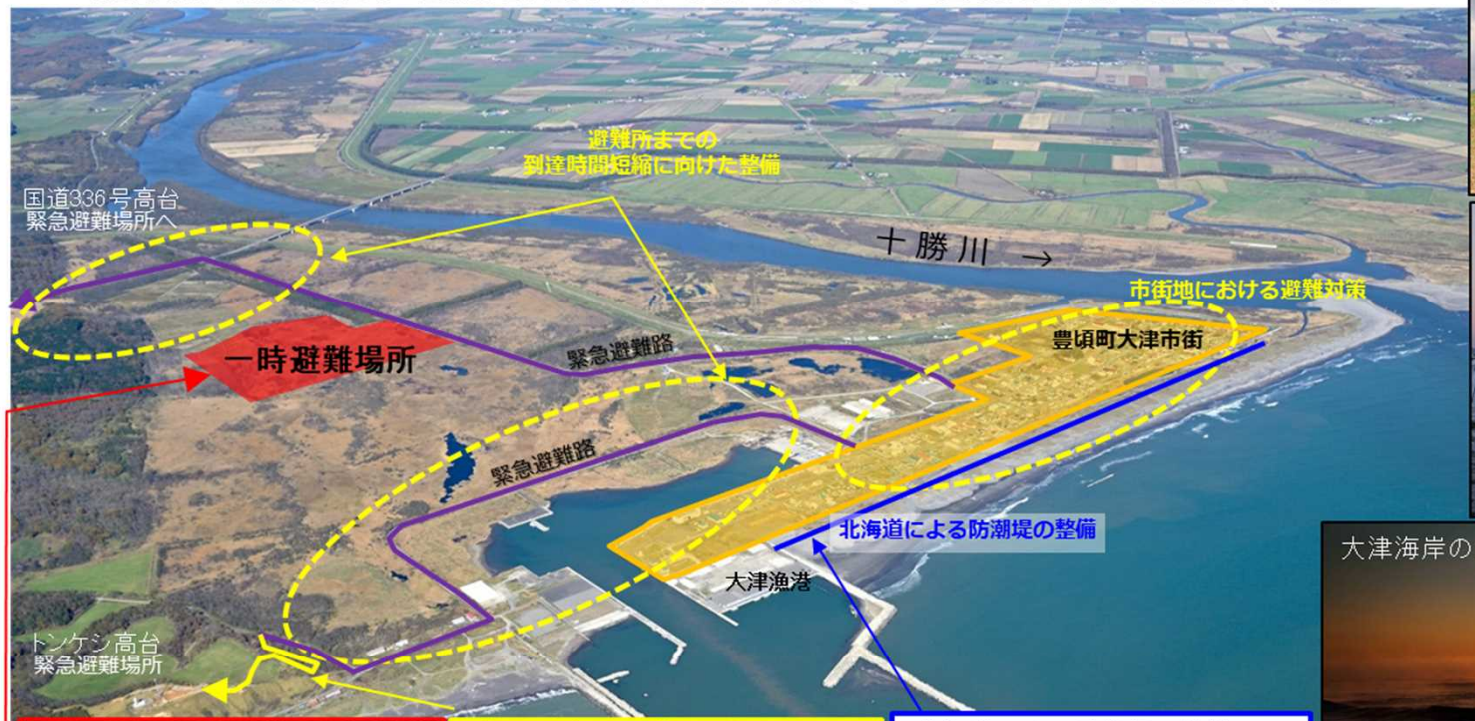
【豊頃町大津の例】

・豊頃町大津地区は、警戒避難体制を特に整備すべき区域として、令和４年２月２２日に「津波災害警戒区域」に指定。
・豊頃町の中でも海沿いにある大津市街では、津波や洪水被害から住民が避難するには街から離れた国道336号もしくはトンケシ高台の緊急避難所に避難する必要がある。
・そのため豊頃町では、大津市街が緊急避難場所が離れていることから大規模地震による道路寸断による沿岸部の孤立を危惧しており、複数の避難路を確保し、孤立に強い集落づくりが必要と考えている。そこで、町として避難路の途中に河道掘削土を活用した一時避難場所や緊急避難路等の整備計画、住民が素早く津波から逃れるための避難計画を作成・整備を進めている。

・築山(通常時)の活用構想
・近くに走るトカプチ400(サイクリングルート)の休憩スポット
・太平洋に落ちる夕日のビュースポット
・ジュエリーアイスを見に来る観光客の駐車場やバス待機場

トカプチ400利用状況

ジュエリーアイスを見に来る観光客
写真：豊頃町提供



開発局による土砂提供状況

豊頃町による避難路整備状況
写真：豊頃町提供

北海道による防潮堤の整備
写真：十勝振興局提供

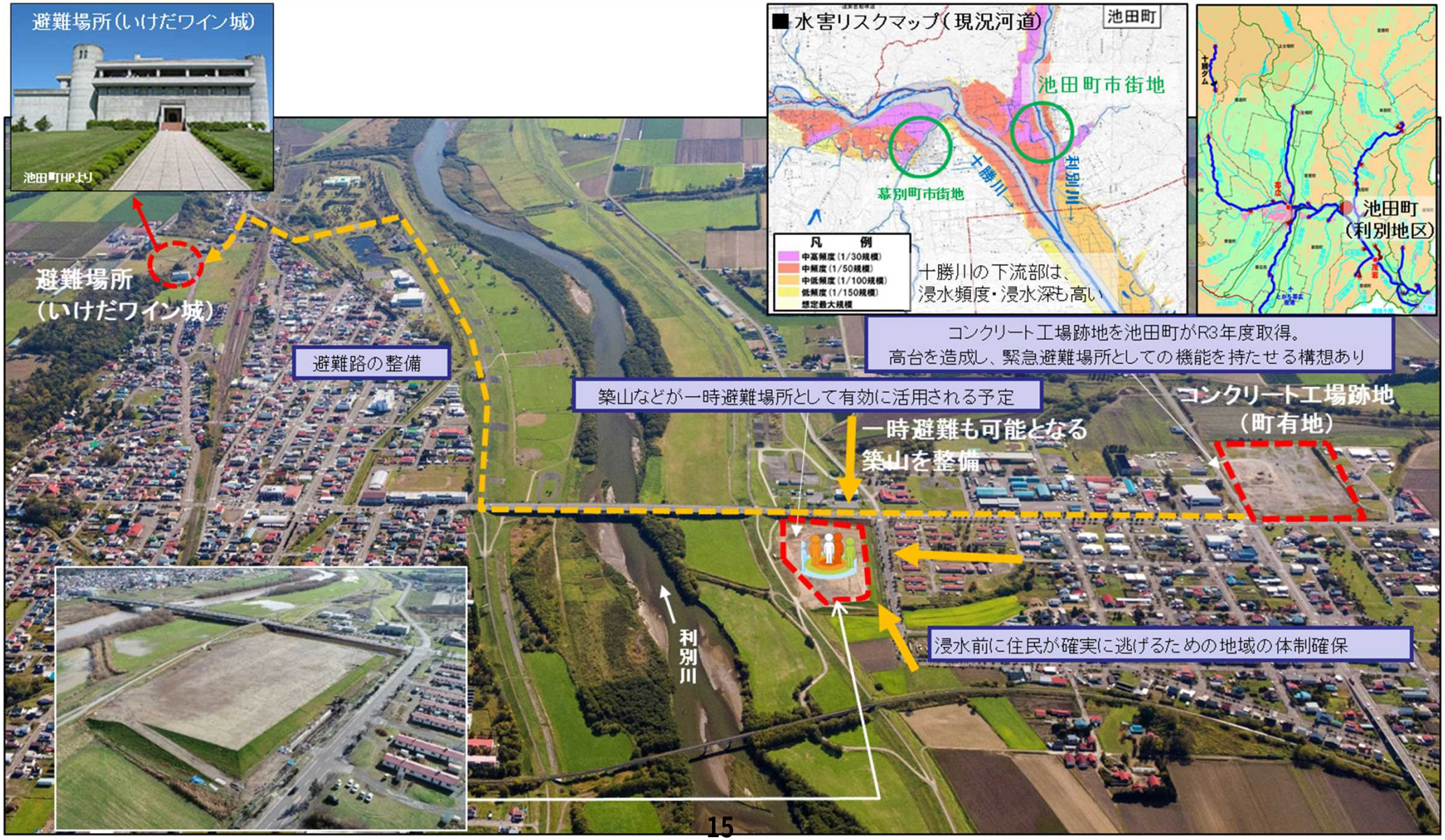
大津海岸のジュエリーアイス
(c)Hideo Kishimoto
写真提供 SamuraiProduce, Inc

十勝川流域における流域治水の取組事例（調整・実施状況 池田町）

十勝川外
流域治水協議会

○ 池田町（利別地区）は、川と川に挟まれた地域であり、気候変動によって広範囲で浸水することが想定される。氾濫流の流速が速く、浸水が短時間で広がるとともに、水位上昇のスピードも速いことが想定される。また、周辺に高台や垂直避難が可能な建物が多くは存在せず、避難が困難な地区である。

○ このため、築山の整備などにより避難場所を確保するなど、確実な避難のために必要な方策を関係者が連携して検討していく。



【共通】ハザードマップの整備と周知状況

令和4年5月、12月の十勝管内の187河川の浸水想定区域図の追加公表を踏まえ、
ハザードマップへの反映を進る。

●令和5年2月時点のハザードマップの作成状況は以下のとおり

浸水想定区域図		ハザードパップ作成状況
国管理区間	北海道管理区間	令和4年度　公表浸水想定区域図を反映したハザードマップ作成状況（R5年2月時点）
	■令和4年度公表 ・厚内川外185河川（令和4年5月23日　公表） ・直別川（令和4年12月21日　公表）	■作成済み 士幌町、池田町、本別町、陸別町 ■作成検討中 帯広市、音更町、鹿追町、新得町、清水町、芽室町、中札内村、幕別町、豊頃町、足寄町、浦幌町、上士幌町、大樹町、更別村、広尾町
■令和3年度まで公表済 十勝川、利別川、札内川、音更川、帯広川、猿別川、途別川、十弗川、浦幌十勝川、下頃辺川、浦幌川、牛首別川	■令和3年度まで公表済 ペケレベツ川、パンケ新得川、足寄川、美生川、ピウカ川、利別川、売買川帯広川・新帯広川、柏林台川、ウツベツ川、芽室川、途別川、鈴蘭川、浦幌川	■R3までに、15市町村でハザードマップ作成

十勝川流域タイムライン（案）について

1．流域タイムライン作成の目的
・「人的被害ゼロ」を実現するために流域の関係機関で早い段階からの連携した防災行動を明確化すること。

◎主　体：流域を管理し、河川情報を提供する河川管理者
◎内　容：関係機関等との連絡及び連携協力とその実施タイミング
◎受け手：自治体、人命救助を担う関係機関（警察、消防、自衛隊等）、住民　等

2．流域タイムライン作成・運用の効果
・流域全体を管理する河川管理者の対応を1つのタイムラインで一元化
・自治体（他機関連携型）タイムライン策定の有無によらず、情報を入手した自治体の円滑な意思決定と人命救助を担う関係機関等の迅速な行動の実現に寄与

◎流域内各自治体のタイムラインを個別に確認しながらの対応は困難
→河川管理者の基本的な対応を流域タイムラインに組み込み一元管理することで、自治体等への情報提供の遅れを回避
◎各自治体の避難情報発令型タイムラインでは、関係機関との連携協力が未整理
→流域タイムラインの作成により、自治体の円滑な意思決定と流域内の他自治体や人命救助を担う関係機関等との情報共有・連携協力事項と実施タイミングが明確化

3．今後について
・流域タイムラインを用いた訓練の実施
・対象範囲の拡大の検討（令和4年度は国管理区間を対象に整理）

十勝川流域タイムライン（案） ステージ01　危機感共有・事前準備

十勝川外
減災対策協議会

十勝川流域タイムライン（案）　【流域TLステージ01　危機感共有・事前準備】

※このタイムラインは、各水位観測所で基準水位等に到達または、到達する見込みがある場合には、水防警報、洪水予報、ホットライン、高齢者等避難、避難指示等を発表する必要があります。
※ダムの操作及び内水氾濫は、水位観測所の水位とは連動しないため行動のタイミングに留意が必要です。

流域TLステージ		条件	帯広測候所	釧路地方気象台	帯広開発建設部	帯広河川事務所 池田河川事務所	北海道 十勝総合振興局	自治体	とかち 広域消防局	警察、自衛隊	電源開発（株） 水力発電部 東日本支店 上士幌電力所	北海道電力 （株） 新得水力 センター	北海道旅客鉄道 （株） 釧路支社	住民等
危機感共有・事前準備	01	【台風情報】 ・台風の発生 ・台風情報 ・早期注意情報（警報級の可能性）（中・高）	台風情報 早期注意情報（警報級の可能性）（中・高）		・気象情報等の収集・伝達 ・防災体制の確認 ・治水協定に基づくダム事前放流について降雨予測を確認し調整・実施	・猿別水門警戒体制水位に到達した場合は、「猿別水門防災対応タイムライン（案）」による防災対応を実施（池河）								

十勝川流域タイムライン（案） ステージ02 危機感共有・事前準備

十勝川外
減災対策協議会

十勝川流域タイムライン（案） 【流域TLステージ02 危機感共有・事前準備】

※このタイムラインは、各水位観測所で基準水位等に到達または、到達する見込みがある場合には、水防警報、洪水予報、ホットライン、高齢者等避難、避難指示等を発表する必要があります。
※ダムの操作及び内水氾濫は、水位観測所の水位とは連動しないため行動のタイミングに留意が必要です。

流域TLステージ		条件	帯広測候所	釧路地方気象台	帯広開発建設部	帯広河川事務所 池田河川事務所	北海道 十勝総合振興局	自治体	とかち 広域消防局	警察、自衛隊	電源開発（株） 水力発電部 東日本支店 上士幌電力所	北海道電力 （株） 新得水力 センター	北海道旅客鉄道 （株） 釧路支社	住民等
危機感共有・事前準備	02	【台風説明会】 ・大雨・台風に関する説明会等の情報で、今後十勝地方に災害などの影響が発生する可能性が生じた場合	台風説明会 （大雨説明会） 府県気象情報 大雨注意報・洪水注意報発表		・気象情報等の収集・伝達 ・水防活動等現地対応の準備	・排水機場（河川）の運転準備		・救急排水準備、排水機場準備 ・水防活動等現地対応の準備		・パトロールの実施（警）				

WEB会議ツールによる危機感の共有

タイムライン運用開始の周知 ●←→● （警・自）

・防災体制の確認

・関係機関・団体との連携調整

十勝川流域タイムライン（案） ステージ03　危機感共有・事前準備

十勝川外
減災対策協議会

十勝川流域タイムライン（案）　【流域TLステージ03　危機感共有・事前準備】

※このタイムラインは、各水位観測所で基準水位等に到達または、到達する見込みがある場合には、水防警報、洪水予報、ホットライン、高齢者等避難、避難指示等を発表する必要があります。
※ダムの操作及び内水氾濫は、水位観測所の水位とは連動しないため行動のタイミングに留意が必要です。

流域TLステージ		条件	帯広測候所	釧路地方気象台	帯広開発建設部	帯広河川事務所 池田河川事務所	北海道 十勝総合振興局	自治体	とかち 広域消防局	警察、自衛隊	電源開発（株） 水力発電部 東日本支店 上士幌電力所	北海道電力 （株） 新得水力 センター	北海道旅客鉄道 （株） 釧路支社	住民等
危機感共有・事前準備	03	【大雨警報】 ・大雨警報の発表又は大雨警報発表の可能性が高い場合												

- 大雨警報・洪水警報発表
- ・気象情報等の収集・伝達
- ステージ切り替えの周知（帯広測候所～釧路地方気象台～北海道十勝総合振興局～警察、自衛隊～北海道旅客鉄道（株）釧路支社）
- 水位予測およびダム洪水測計算の実施・発信（帯広測候所～釧路地方気象台～池田河川事務所～北海道十勝総合振興局～警察、自衛隊～北海道旅客鉄道（株）釧路支社）
- 十勝ダムの状況に関する情報提供
  札内川ダムの状況に関する情報提供（北海道十勝総合振興局～警察、自衛隊～北海道電力（株）新得水力センター）
- ・防災体制の構築
- ・パトロールの実施（警）
- ・関係機関・団体との連携調整
- ・河川管理活動の実施
- ・排水機場（河川）の運転準備
- ・水防活動等現地対応の準備
- ・水防活動等現地対応の準備
- ・交通規制に関する対応・情報収集

十勝川流域タイムライン（案） ステージ1　現地対応・避難支援

十勝川外
減災対策協議会

十勝川流域タイムライン（案）　【流域TLステージ1　現地対応・避難支援】

※このタイムラインは、各水位観測所で基準水位等に到達または、到達する見込みがある場合には、水防警報、洪水予報、ホットライン、高齢者等避難、避難指示等を発表する必要があります。
※ダムの操作及び内水氾濫は、水位観測所の水位とは連動しないため行動のタイミングに留意が必要です。

流域TLステージ		条件	帯広測候所	釧路地方気象台	帯広開発建設部	帯広河川事務所 池田河川事務所	北海道 十勝総合振興局	自治体	とかち 広域消防局	警察、自衛隊	電源開発(株) 水力発電部 東日本支店 上士幌電力所	北海道電力 (株) 新得水力 センター	北海道旅客鉄道 (株) 釧路支社	住民等
現地対応・避難支援	1	【水防団待機水位】 ・基準水位観測所で水防団待機水位に到達しさらに上昇が見込まれる場合	大雨・台風に関する十勝地方気象情報発表		水防警報(準備/待機)発表					(警・自)				
					・気象情報等の収集・伝達									
					ステージ切り替えの周知					(警・自)				
					水位予測およびダム洪水予測計算の実施・発信					(警・自)				
					十勝ダム洪水調節開始情報の周知 札内川ダム洪水調節開始情報の周知			市民への注意喚起		(警)				
					注意体制			第1次注意体制						
					水防団待機水位に到達した場合			水防団待機水位に到達した場合						
					・防災体制の構築									
								・水防団（待機・準備）の指示		・パトロールの実施(警)				
					・関係機関・団体との連携調整									
					リエゾン派遣					リエゾン派遣(警・自)				
								災害対策用(ポンプ車等)出動要請						
					災害対策用機械(ポンプ車等)出動									
								・住民・報道機関等への広報活動 ・内水氾濫に関する避難所の開設 ・避難所の運営						
					・水防活動等現地対応の準備・実施			・水防活動等現地対応の準備・実施						
					・現地状況の確認・伝達					・現地状況の確認・伝達(警・自)				
						樋門閉扉報告								
					・河川管理活動の実施									
							・排水機場（河川）の運転（基準到達時） ・通行止等（状況に応じ実施） ・応急対策用資器材の確認							

十勝川流域タイムライン（案） ステージ2 現地対応・避難支援

十勝川外
減災対策協議会

十勝川流域タイムライン（案） 【流域TLステージ2 現地対応・避難支援】

※このタイムラインは、各水位観測所で基準水位等に到達または、到達する見込みがある場合には、水防警報、洪水予報、ホットライン、高齢者等避難、避難指示等を発表する必要があります。
※ダムの操作及び内水氾濫は、水位観測所の水位とは連動しないため行動のタイミングに留意が必要です。

流域TLステージ	条件	帯広測候所	釧路地方気象台	帯広開発建設部	帯広河川事務所 池田河川事務所	北海道 十勝総合振興局	自治体	とかち 広域消防局	警察、自衛隊	電源開発(株) 水力発電部 東日本支店 上士幌電力所	北海道電力 (株) 新得水力 センター	北海道旅客鉄道 (株) 釧路支社	住民等
現地対応・避難支援 2	【氾濫注意水位】 ・基準水位観測所で3時間前水位予測により避難判断水位到達が見込まれさらに上昇が見込まれる場合、または、水位観測所で氾濫注意水位に到達し、さらに水位上昇が見込まれる場合	●	洪水予報(氾濫注意情報)発表		●	●	●		●（警・自）				
		●	●	水防警報(出動)発表	●	●	●		●（警・自）				
		●	●	ステージ切り替えの周知		●	●	●	●（警・自）	●	●	●	
		・気象情報等の収集・伝達											
				十勝ダム特別防災操作 札内川ダム特別防災操作		●	●		●（警）	●	●		
					避難指示助言、避難判断水位超過予測等ホットライン(Tel)		●						
				警戒体制			第2次注意体制						
				氾濫注意水位に到達した場合			氾濫注意水位に到達した場合						
							洪水予報（氾濫注意情報）の伝達						● ※地下街、要配慮者利用施設へ
		・防災体制の構築											
							・水防団（出動）の指示						
		・関係機関・団体との連携調整											
							内水氾濫に関し、警戒レベル4・避難指示発令						内水氾濫に関し、避難開始
							・住民・要配慮者・要配慮者利用施設・報道機関等への広報活動		・避難所への立寄り(警) ・住民・要配慮者・要配慮者利用施設への広報活動(警) ・内水氾濫に関する避難支援(警)				
							・内水氾濫に関する避難支援及び避難者の受入対応						
							・外水氾濫に関する避難箇所の開設 ・避難箇所の運営						
				・水防活動等現地対応の準備・実施			・水防活動等現地対応の準備・実施						
		・現地状況の確認・伝達							・現地状況の確認・伝達（警・自）				
					樋門閉扉報告	●	●	●					
		・河川管理活動の実施											
						・排水機場（河川）の運転（基準到達時） ・通行止等（状況に応じ実施） ・応急対策用資器材の準備							

十勝川流域タイムライン（案） ステージ3 現地対応・避難支援

十勝川外
減災対策協議会

十勝川流域タイムライン（案） 【流域TLステージ3 現地対応・避難支援】

※このタイムラインは、各水位観測所で基準水位等に到達または、到達する見込みがある場合には、水防警報、洪水予報、ホットライン、高齢者等避難、避難指示等を発表する必要があります。
※ダムの操作及び内水氾濫は、水位観測所の水位とは連動しないため行動のタイミングに留意が必要です。

流域TLステージ	条件	帯広測候所	釧路地方気象台	帯広開発建設部	帯広河川事務所 池田河川事務所	北海道 十勝総合振興局	自治体	とかち 広域消防局	警察、自衛隊	電源開発（株） 水力発電部 東日本支店 上士幌電力所	北海道電力 （株） 新得水力 センター	北海道旅客鉄道 （株） 釧路支社	住民等
現地対応・避難支援 3	【避難判断水位】 ・基準水位観測所で避難判断水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる	●	洪水予報(氾濫警戒情報)発表		●	●	●		→●（警・自）				
		●	●	水防警報（指示)発表	●	●	●		→●（警・自）				
		●	●	ステージ切り替えの周知		●	●	●	→●（警・自）	●	●	→	
		気象情報等の収集・伝達											
					高齢者等避難・避難指示の助言ホットライン（Tel）	→	●						
							第1種非常配備体制 避難判断水位に到達した場合						
				・防災体制の構築									
				・関係機関・団体との連携調整									
							洪水予報（氾濫警戒情報）の伝達		→				● ※地下街、要配慮者利用施設へ
							警戒レベル3・高齢者等避難発令		→				高齢者等避難開始
							・住民・要配慮者・要配慮者利用施設・報道機関等への広報活動		・避難所への立寄り(警) ・住民・要配慮者・要配慮者利用施設への広報活動(警)				
							・住民避難の支援 ・避難所の運営		・住民避難の支援(警) ・現地状況の確認・伝達(警・自)				
				・現地状況の確認・伝達									
				・水防活動等現地対応の実施			・水防活動等現地対応の実施						
				●	← 樋門閉扉報告	●	→ ●						
				河川管理活動の実施									
						・排水機場（河川）の運転（基準到達時） ・通行止等（状況に応じ実施） ・（必要に応じ）応急対策の実施							

十勝川流域タイムライン（案） ステージ4 現地対応・避難支援

十勝川外
減災対策協議会

十勝川流域タイムライン（案） 【流域TLステージ4 現地対応・避難支援】

※このタイムラインは、各水位観測所で基準水位等に到達または、到達する見込みがある場合には、水防警報、洪水予報、ホットライン、高齢者等避難、避難指示等を発表する必要があります。
※ダムの操作及び内水氾濫は、水位観測所の水位とは連動しないため行動のタイミングに留意が必要です。

流域TLステージ	条件	帯広測候所	釧路地方気象台	帯広開発建設部	帯広河川事務所 池田河川事務所	北海道 十勝総合振興局	自治体	とかち 広域消防局	警察、自衛隊	電源開発（株） 水力発電部 東日本支店 上士幌電力所	北海道電力 （株） 新得水力 センター	北海道旅客鉄道 （株） 釧路支社	住民等
現地対応・避難支援 4	【氾濫危険水位】 ・基準水位観測所で氾濫危険水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合、または、急速な水位上昇により、まもなく氾濫危険水位を超え、さらに水位上昇が見込まれる場合	●	洪水予報(氾濫危険情報)発表	洪水予報のプッシュ型配 氾濫危険水位に到達または、さらに水位上昇が見込まれる場合したことを住民に知らせる	●	●	●		●（警・自）				●
		●	●	水防警報（指示）発表	●	●	●		●（警・自）				
		●	●	ステージ切り替えの周知		●	●	●	●（警・自）	●	●	●	
		・気象情報等の収集・伝達											
					ホットライン（Tel） ※氾濫危険水位到達情報、被害想定提供、被災状況提供		●						
				非常体制			第2種非常配備体制						
				災害対策本部設置			災害対策本部設置						
				氾濫危険水位に到達した場合			氾濫危険水位に到達した場合						
				・防災体制の構築									
				・防災関係機関・団体との連携調整									
							洪水予報（氾濫危険情報）の伝達						●
							警戒レベル4・避難指示発令		・避難所への立寄り(警) ・住民への広報活動（警） ・住民避難の支援(警)				避難開始 ※地下街、要配慮者利用施設へ
							・住民・報道機関等への広報活動 ・住民避難の支援						
		・現地状況の確認・伝達											
				・水防活動等現地対応の実施・退避			・水防活動等現地対応の実施・退避						
				・十勝ダム異常洪水時防災操作 札内川ダムダム異常洪水時防災操作		●	●		●（警）	●	●		
						・河川管理活動の実施 ・排水機場（河川）の運転（基準到達時） ・通行止等（状況に応じ実施） ・（必要に応じ）応急対策の実施							

十勝川流域タイムライン（案） ステージ5 現地対応・避難支援

十勝川外
減災対策協議会

十勝川流域タイムライン（案） 【流域TLステージ5 現地対応・避難支援】

※このタイムラインは、各水位観測所で基準水位等に到達または、到達する見込みがある場合には、水防警報、洪水予報、ホットライン、高齢者等避難、避難指示等を発表する必要があります。
※ダムの操作及び内水氾濫は、水位観測所の水位とは連動しないため行動のタイミングに留意が必要です。

流域TLステージ	条件	帯広測候所	釧路地方気象台	帯広開発建設部	帯広河川事務所 池田河川事務所	北海道 十勝総合振興局	自治体	とかち 広域消防局	警察、自衛隊	電源開発（株） 水力発電部 東日本支店 上士幌電力所	北海道電力 （株） 新得水力 センター	北海道旅客鉄道 （株） 釧路支社	住民等
現地対応・避難支援 5	【氾濫発生】 ・氾濫切迫 および氾濫発生	●	洪水予報（氾濫発生情報）発表		●	●	●		●（警・自）				
				洪水予報のプッシュ型配信 氾濫が発生したことを住民に知らせる									●
		●	●	ステージ切り替えの周知		●	●	●	●（警・自）	●	●	●	
					ホットライン（氾濫発生の伝達） 堤防決壊の発生の伝達と今後の河川状況など助言	・気象情報等の収集・伝達	●						
							第3種非常配備体制 堤防からの越水・溢水、破堤発生						
				・防災体制の構築									
				・関係機関・団体との連携調整									
							洪水予報（氾濫発生情報）の伝達						●
							警戒レベル5・緊急安全確保						緊急安全確保措置 ※地下街、要配慮者利用施設へ
						●	自衛隊の派遣要望						
						自衛隊の派遣要請			●（自）				
							●		自衛隊の派遣（自）				
									・避難所への立寄り（警）				
							・住民・報道機関等への広報活動		・住民への広報活動（警）				
				・住民避難の支援			・住民避難の支援		・住民避難の支援（警）				
				・河川管理活動の実施									
							・交通規制に関する対応・情報収集 ・交通情報の伝達		・交通規制に関する対応・情報収集 ・交通情報の伝達（警）				
				・現地状況の確認・伝達									
				・地域の復旧活動		・排水機場（河川）の運転（基準到達時） ・通行止等（状況に応じ実施） ・（必要に応じ）応急対策の実施							

十勝川水系河川整備計画の変更について

〇北海道開発局では、令和４年９月９日に公表した十勝川水系河川整備基本方針変更を踏まえ、
十勝川水系河川整備計画の変更を検討しています。

十勝川水系十勝川河川整備計画［変更］（原案）のポイント

■主な変更内容：

・気候変動による影響を考慮した河川整備計画目標流量の変更
　茂岩地点：11,000m3/s　⇒　14,100m3/s（約1.3倍）
※14,100m3/sのうち、1,500m3/sをダムにより洪水調節し、河道への配分を12,600m3/sとする。

・既存ダムの有効活用について、支川音更川の流量低減の必要性を踏まえ、河道の掘削等に加えダムの嵩上げによる新たな洪水調節機能の確保等について、必要な対策を講じることを位置づけ

・河川整備と合わせて、流域全体であらゆる関係者が協働して行う総合的かつ多層的な治水対策（流域治水）の推進